

〒五四三・〇〇一三 大阪府大阪市天王寺区玉造本町一三・五  
電話番号、FAX 〇六・六七六一・八二九三

令和3年 2月号 No.84  
寺報 あんのんえんこう  
発行 圓光寺ごほう志会  
執筆 足利誠正

## 阿弥陀如来 信心とは

日本の神は清浄なものというだけで、衆生を救う神ではない。他の宗教の神は全智、全能、偏在、愛、というが、禪定とか心性とか仏性とかを知らない神であって、人間を少し引き延ばしたような神である。仏教から見れば 神も迷界のものである。

なぜなら、神も智慧、苦楽、善悪の中に住んでいてからである。少なくとも人間が神をそのようにみている。禪定を知らない限り人間の間で言うこと思うことはすべて相対である。

神は絶対なりと口では言っているが、絶対の味は分からない。法身とか法性とか真如とか涅槃とか空とか第一義諦とかいうのが、あれが真の絶対なのです。

凡夫をこのままで、真の絶対の真理の都へ入れたもうのが浄土真宗であります。信心一つで、その絶対の世界へ入れしめたもう。その信心は、真の絶対的絶対者(如来)の功德力用(はたらき)である。

まことの信心は如来の功德力に他ならない。

本願力であり佛智である。佛智によって佛智を仰いだのを信心という。月の光で月を見るようなものであります。信心とて凡夫の心ではない。凡夫の力ではない。凡夫の思いは妄念であって、信心とてそれが凡夫の思いであればそれはまことの信心ではない。

凡夫の思いは、必ず時間と空間と因果の中の思いである。その凡夫のおもいでは、お浄土へは参られない。ただ如来の本願力によってのみ浄土に入ることができる。阿弥陀如来には不可思議の力がある。その力を、大慈悲力 大智慧力 大誓願力(本願力)という。これらの力を仰ぎ信じたのを信心という。

信心とは如来様を仰ぎ信じたのが、信心であります。如来様を仰ぎ信じるとは、如来様の佛智を仰ぎ信ずることである。本願力を仰ぎ信ずることである。佛智とは、法性の功德であり、真如の功德である。すなわち南無阿弥陀仏の功德であります。

阿弥陀如来には、特に本願がある。どういう本願かというと、如来の佛智で衆生を必ず救うという本願である。佛智は不思議であり、本願

もまた不思議であります。どうしたら信心がいただけるかというと、佛智の不思議を不思議やなあと仰いだのが、それが信心であります。

第一八願に、至心と信樂と欲生の三心が誓われてある。欲生の体は信樂であり、信樂の体は至心であり、至心の体は名号であり、佛智でもある。至心とは、如来の真心である。凡夫には真心がない。凡夫と佛の違いが、わからないようでは信心はいただけない。寺に参る人は、第一番に佛と凡夫の違いを聞くのがよい。

それが信心獲得の基本である。その違いが分かれば自然に、如来を崇拜するようになる。如来を崇拜したのが信心である。崇拜すれば讚嘆する。讚嘆すれば、報恩の念も湧いてくる。お念仏もとなえさせていただくようになる。

念仏を自分がとなえてまいろうとするのは、第二十願の信心であり、第一八願の信心とは言えない。信じて参ろう、称えて参ろうと思う心が早や自力であります。凡夫だ、赤子だ、罪深い者だというのは、口先ばかりの話であります。

嘆異抄から 〓一月号のつづき 〓

例えば、親鸞聖人が端的な言葉で見事にみ教えを表現された一節が出てきたと思うと、唐突に聖人が門弟たちと対峙する緊迫した場面が描かれ、承認が余すところなく、ご領解を語られます。

ほかにもこちらの常識を、次々に揺さぶる聖人の鋭い言葉や痛快な論理の数々、唯円房との語らいの中、嘘のない言葉でわが身を語られる聖人のお姿。どの条もよみおわると、阿弥陀如来の中に生きていかれた親鸞聖人の人となりや伝わってきて、何とも言えないあたたかな後味を残します。

これらは聖人の書物には出てこない 語らいの中でこそ生まれた珠玉の言葉だったといえるでしょう。現代に至るまで、嘆異抄は多くの人々にとってまるで親鸞聖人に出遭っている窓口のような存在としてありつづけています。今あらためてこの嘆異抄の世界を紹介したいと思います。

井上見淳師 〓嘆異抄の魅力〓  
を学ばせていただきます。 つづく

定例写経のつどい

令和三年二月二十七日 〓第四土曜日十四時

おつとめ 住職の簡単法話 〓十五時

写経会 今までの中より、これと思われの

を ご提出ください。

マスク着用 初めて参加の方は

お知らせ下さいませ。〓十六時まで

手を取りあつて 〓二月伝道板より〓

年が明けると、すぐ目の前に新学期がせまる。手を取りあつてあゆみたい。そんな気持ちを持つてほしいと思えました。それこそが仏さまの心だと考えるからです。

二月

たのまれたら

「ハイ」とこたえて

「ニコニコ」して

「ボン」とすぐしてあげる

「ハイ、ニコ、ボン」で

みんな仲よし

家族もたのし

〓二月伝道板より〓

圓光寺納骨堂について 〓許可書、通知書〓

昨年九月ごろから、たくさんの方の公的な書類や資料をそろえて、大阪市保健所に届出を行いました。何度も当院を見に來られました。その結果、納骨堂経営管理に関わる許可書と、許可申請通り竣工したことを確認したという通知書を、各々大阪市及び大阪市保健所から、いただきました。

すでに募集中ですが、かような手続きを経た、正式に認められた納骨堂であることを、ご報告いたします。

### ＊コロナで生活にお困りのお檀家さんへ

日常のお金の工面、銀行取引、法律問題（適切な弁護士の紹介）など親身に相談に乗ってくださる経験豊富、有能な住職さんに取次します。圓光寺もお世話になつての方で安心、相談料など一切気にしないでいいです。まず目の前の問題を解決することです！そういう方ですので何なりと圓光寺をご活用ください！